

ニュース 玉手箱



自分の考え、堂々と



高橋杏莉さん

高橋由衣さん

第 58回山形県少年の主張尾花沢大石田地区大会が9月4日（水）に尾花沢市の玉野中学校で開催され、大石田町と尾花沢市の中学生7人が中学生らしい視点で自分の考えを発表しました。

大石田中学校からは、高橋杏莉さん（3年）と高橋由衣さん（3年）が出演し、堂々とした発表を行いました。杏莉さんは「後悔から学んだ今」という論題で、由衣さんは「本気が与えてくれたもの」という論題で、それぞれが自身の経験から感じたことや考えを力強く主張しました。中学生の堂々とした主張に、会場からは大きな拍手が送られていました。

自慢のペそら一堂に

大 石田町発祥のペそら漬を次の世代に受け継ぎ、特産品として町内外に発信することを目的とした「我が家自慢のペそら漬コンテスト」が9月2日（月）に役場大会議室で行われました。

コンテストには12の家庭のペそら漬が出品され、町内の漬物店やそば店の店主などの審査員が漬物の色、辛さや塩気などの味と噛み応えなどを審査し、「辛い！」と汗をかきながら、ひとつひとつを味わって点数をつけていました。入賞した家庭のペそら漬は10月26日（土）27日（日）に行われる新そばまつりに出展され、味見することができます。



第8回我が家自慢のペそら漬コンテスト審査結果

最優秀賞 芳賀 好一さん（豊田）
優秀賞
 大山 和子さん（海谷） 香坂 明さん（仲通）
 鈴木 隆行さん（仲通） 鈴木 トシノさん（田沢下）
 村岡 みゆきさん（鷹巣1） ※優秀賞は50音順

プロジェクト「虹」第2回公演

町 内で活動する演劇団体「プロジェクト『虹』」（織江尚史代表）の第2回公演「べっかんこ鬼」が、8月25日（日）に虹のプラザ多目的ホールで上演されました。

今回の公演では、子どもたちにも演劇に親しんでもらおうと、シンプルなストーリーの芝居が上演され、心優しい鬼と盲目の少女が引かれあう、分かりやすい物語でありながら、深いテーマを持った作品を町民が熱演しました。公演は昼夜2回行われ、子どもから大人まで訪れた多くの観客が、昔ばなしのような世界に引き込まれていました。



スポーツ通じ交流楽しむ



老 人クラブ連合会主催の「老人クラブ体育レクリエーション大会」が、9月13日（金）にクロスカルチャープラザ多目的コートで開催されました。この大会は、スポーツを通じて健康の増進を図り、人と人とのふれあいの輪を広げようと、毎年開催されています。

約200人の参加者は、ワナゲや地区対抗のグラウンドゴルフフリー、まり入れなどの競技と花笠踊りなどを通して交流の輪を広げていました。競技の合間には、大石田保育園の園児による鼓笛隊演奏の披露も行われ、会場を盛り上げていました。

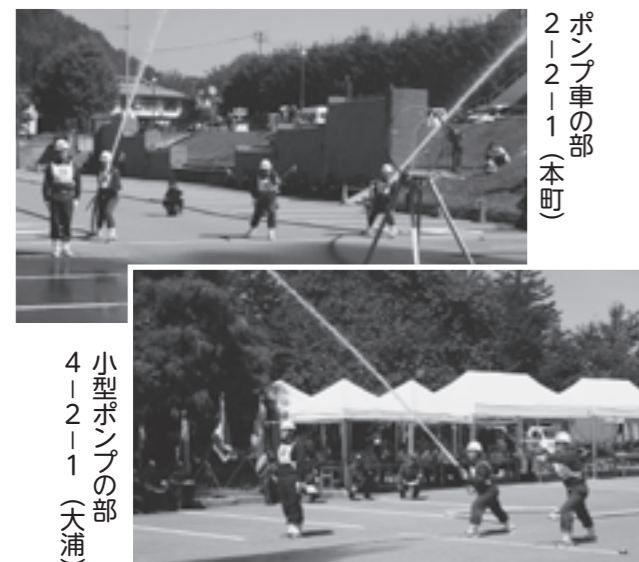
正確な消防操法競う

令 和元年度山形県消防協会北村山支部操法大会が、村山市の村山市民会館駐車場で9月8日（日）に開催されました。大会には北村山3市1町の審査会を勝ち抜いた消防団8隊が出場し、ポンプ車の部と小型ポンプの部それぞれでポンプの取扱いや放水作業の正確さを競いました。

大石田町からは、小型ポンプの部に第4分団第2部第1班（大浦）、ポンプ車の部に第2分団第2部第1班（本町）がそれぞれ出場しました。審査の結果、本町は優秀賞（第2位）、大浦が第3位で、総合の部で大石田町消防団は第3位となりました。

十五夜の伝統行事を体験

十 五夜の伝統行事を楽しむイベントが、にじっこひろばで9月13日（金）に開催されました。これは、町内にも残る十五夜の行事を若い世代にも体験してもらおうと企画されたものです。イベントでは参加した子どもとその保護者約20人が、お月見にまつわる歌を一緒に歌って楽しみ、月の満ち欠けに応じた名前などを教わりました。その後、子どもたちは施設の外に出て、社会福祉協議会や虹のプラザ事務室などを「豆あげだがは〜」と訪ね歩き、お菓子などをもらう、昔ながらの芋名月の行事を楽しみました。



2
1
2
1
1
（本町）
ポンプ車の部

4
1
2
1
1
（大浦）
小型ポンプの部